

日本語指導員現地レポート  
第11代日本語指導員 戸脇美夢さん

三重県出身。留学経験を経て、国際教養大学専門職大学院にて日本語教育を学び、多くの異文化交流イベントの企画・運営に携わるなど、豊富な国際交流経験を活かして渡航。



ハンガリーでは、非常事態宣言が延長され、オンライン授業が断続しています。生徒のモチベーションを保つため、日本語教室でもさまざまな工夫を行っています。その一つとして、月に1回、文化授業を取り入れていきます。1月はお正月と大日堂舞楽、2月は節分の紹介を行いました。

私が一方的に話すだけではなく、生徒にもハンガリーの文化、日本との共通点や違いを教えることもしています。例えば、節分の日には、南ハンガリーのモハーチ出身の生徒が、伝統のお面をかぶり街を練り歩く「ブショウ・ヤーラーシュ」について紹介してくれました。ハンガリーには日本の「鬼」のようなものはありませんが、「魔」を恐れるという点では似たような意識を持っているように感じます。

また、オンライン授業に関する勉強会にも積極的に参加しています。2月には、オンラインで「中東欧日本語教育研修会2021」に参加しました。研修会までの1

カ月間は、チャットツールを使って、参加者同士が毎週異なるトピックについて話し合う機会がありました。

研修当日は、武蔵野大学の藤本かおる教授による講演と、オンライン教育を利用してどのような学びを提供できるかについてのディスカッションがありました。ヨーロッパで日本語教育に従事されている先生方と知り合い、意見交換をすることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。また、同じく教師として活躍している大学院の同期や先輩の顔を久しぶりに見ることができ、心強く感じました。



ブショウ・ヤーラーシュ



オンライン 絵画教室の様子

ブログ公開中 <https://my-sopron-life.blogspot.com/> ぜひご覧ください。

## コミュニティ助成事業

### 宝くじ助成で地域コミュニティの活性化

コミュニティ助成事業を活用し、八幡平の荒町自治会と花輪の寺坂自治会がテーブルやイスなどの備品を整備しました。購入した備品は自治会事業で活用され、今後、自治会活動がより活発になることが期待されます。



整備した備品 テーブル・イス・エアコン

### コミュニティ助成事業とは

「一般財団法人 自治総合センター」が宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動の充実・強化のための助成を行い、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する事業です。

#### 助成対象

- ・コミュニティ活動に必要な備品
- ・集会施設の整備
- ・安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援、地域の国際化の推進、活力ある地域づくりなどの事業

生活環境課 コミュニティ推進班  
☎30-02002

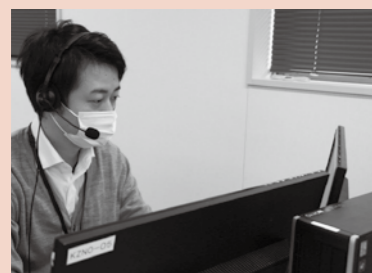


- ◆所在地 花輪字下花輪33-1 まちなかオフィス内レンタルオフィスB
- ◆設立 平成22年9月1日
- ◆代表者 小林 栄治
- ◆連絡先 ☎22-6071



#### ウチの会社のここがスゴイ!

鹿角 TW 課 柳澤 高志課長  
全国にある他の営業所のサポート事務を行っています。



## 会社概要

ファストコムは、モノづくりに対する総合企画会社として、企業に代わってホームページなどを制作・運営する「WEB事業」、日本のものづくりをカメラに収め後世に残していく「メディア事業（ニッポン手仕事図鑑）」、建築現場のトータルサポートをする「建助事業」、クライアントのニーズに応じてイベントをPRし盛り上げる「ビューマンソリューション事業」の4つを柱に事業を展開しています。

## 代表から

代表取締役社長 小林 栄治さん  
鹿角の人柄や観光資源に心惹かれ、全国に広がる建助事業のサポートチーム運営から求人&ローカルメディア「スコープ」の運営、WEB人材の育成講座の開催など、さまざまなキャリアを持つ仲間と共に鹿角オフィスは日々成長してきました。  
当社では鹿角を通し、たくさんの方の夢を実現していく仲間を募集しています。ぜひ鹿角から日本を盛りあげて行きましょう。

魅力あふれる地元企業を紹介  
**鹿角の企業 いいね!**  
株式会社ファストコム

代表取締役社長 小林 栄治さん

「仕事は、何をするかではない。誰とやるかだ」

## 世界遺産

### 大湯環状列石

#### 世界遺産登録に向けた取り組み



### 大湯環状列石の遺構① 「組石遺構」

万座環状列石と野中堂環状列石を構成する石の中には「組石遺構」と呼ばれるものがあります。これは川原石を円や楕円、四角などの形に配置したものです。現在は万座では100基以上、野中堂では60基以上の組石遺構が確認されています。

これらの組石遺構は、野中堂環状列石の北東側にある一本木後口配石遺構群の発掘調査の結果からお墓である可能性が高いことがわかり、環状列石はお墓の集合体であることが考えられています。また、お墓とは違う役割をもつて作られた組石遺構も存在します。野中堂環状列石にある日時計状組石は、組石遺構の中で最も特徴的で、中心に立石を置き、その周りを放射状に小さな石で囲み、四

方に丸石が配置されています。環状列石の内帯、外帯と呼ばれる二重の輪の間に位置し、独立した存在であることや、万座環状列石にも日時計状組石が同様に配置されていることから、環状列石の中でも特別な意味を持つ遺構と考えられています。



組石遺構 (野中堂環状列石 3号組石)



日時計状組石 (野中堂環状列石)

世界遺産登録に向けて

大湯ストーンサークル館 ☎37-3822